

## 令和7年度第2回 秩父市ドローン社会実装コンソーシアム 総会 議事録（概要）

日時：令和8年3月27日（金）15時～17時

場所：秩父市役所 本庁舎3階庁議室+オンライン

出席者：コンソーシアム会員 約70名（オンライン含む）

### 1. 開会

井上（秩父市先端技術推進課）

- ・開会および進行担当の挨拶

### 2. 会長挨拶

清野和彦 秩父市長（会長）

- ・コンソーシアムは2年目、会員数は90団体超へ拡大
- ・今年度は物流・点検・空撮の各部会を中心に7つの検討会で具体的サービスを検討
- ・秩父市は「荒川流域圏構想」を推進している
  - 上流域：森林・水など自然資源
  - 中下流域：市場・経済力
- ・国の「デジタルライフライン全国総合整備計画」によりドローン航路整備が進行中
- ・荒川上空でのドローン航路構築により新たな流域連携・事業創出を期待

### 3. 議事

会長（清野市長）より議事開始。

#### 3－（1）会員の入会状況

事務局（秩父市 先端技術推進課）

- ・前回総会（10月）以降の新規加入者を紹介。
- ・新規：7団体が新たに参加、現在の会員数は92団体。

#### 3－（2）各部会・検討会の進捗報告

### ①部会・検討会の開催状況（秩父市 先端技術推進課）

- ・各検討会の現在の状況を簡単に紹介
- ・詳細は次で各リーダーより共有

### ②物流部会（各検討会リーダーによる報告）

#### I. 山小屋配送検討会

- ・3月5日雲取山荘オーナーへヒアリング
- ・ヘリで運べない物資（豆炭等）の輸送、将来的な自社運用
- ・ドローンでの「全量置換」は現実的に困難
- ・機体：DJI FlyCart30 想定

#### II. 工場間書類配送検討会

- ・3社ヒアリング、うち2社で具体的なニーズを確認
- ・コスト試算の結果、現状では単独事業として成立困難
- ・複数企業共同利用モデル等を検討

#### III. 樹液集荷検討会

- ・作業者の高齢化、担い手不足が急務
- ・大型の機体が必須のため、簡単に実装できる領域ではない

#### 【物流部会の総括】

##### ■ 共通課題

- ・コスト（初期・運用）
- ・マネタイズ不成立
- ・オペレーション負荷

##### ■ 評価

- ・技術的可能性：あり
- ・事業性：未確立

### ③空撮部会（各検討会リーダーによる報告）

#### I. 観光空撮検討会

- ・コスト試算の結果、人件費が収益を圧迫
- ・無人化や既存スタッフの兼業を検討
- ・来年度は国の補助金等の活用も検討

#### II. ゴルフ場空撮検討会

- ・有効性は確認済み
- ・追加ニーズとして鳥獣害対策

→事業化のフェーズへ

**【空撮部会の総括】**

- ・法規制対応（飛行制限拡大）
- ・空域共有（ドローン航路）
- ・フェーズフリー運用（平時＋災害時）
- ・マネタイズ

**④点検部会（各検討会リーダーによる報告）**

I. 鉱山採掘量データ取得検討会

- ・前回同様、営業行為に入っているので情報は非公開
- ・今後はモニタリングベースで運用検証を継続。

II. ダム点検検討会

- ・水資源機構へのヒアリングと飛行実証を実施
- ・実際に撮影した3次元モデルを公開
- ・一部業務の代替を検討（契約形態を整理）

**【点検部会の総括】**

- ・1つは検討会を卒業とのことで市場が成熟してきている
- ・ドックの設置による定期点検でコスト低下に期待
- ・ドローン航路の活用を検討

**⑤運営企画部会（秩父市 先端技術推進課）**

- ・コンソーシアムの運営体制を構築するため、10月総会で新たに設置
- ・会費の有料化はせず、事務局は秩父市が継続

**【質疑】**

（秩父市 産業観光部長）

- ・KDDIスマートドローンに対して、ワンフライト数百円の手数料の成果の実現について  
（KDDIスマートドローン森嶋様）
- ・数百円の世界までには5年くらいはかかると見込んでいる
- ・実装させるためには、緊急性。高コスト高付加価値に適用させる必要あり  
（ちちぶ結いまち深田様）
- ・工場間書類配送検討会の保守運用費用の内訳について  
（ゼンリン藤内様）
- ・人件費、運行システム費用を240万円で想定。

**3－（3）その他活動報告**

①KDDI スマートドローン・ちちぶ結いまちとの「無人航空機を活用した連携協定」

(一般社団法人ちちぶ結いまち 深田様)

取組1：ドローンポート整備

見守り、防犯、登校監視など多用途活用

取組2：人材育成

ドローンスクール開校（国家資格人材育成）、既に卒業生輩出

取組3：ドローン物流実現

定常運行による効率化を目指す

②環境省「運輸部門の脱炭素化に向けた次世代型物流促進事業」

(KDDI スマートドローン株式会社 森嶋様)

- ・共同配送+ドローン配送でCO<sub>2</sub>削減
- ・コンビニを物流拠点（モビリティハブ）化
- ・トラックとの最適配置など最適なドローン物流モデル確立が課題

③民間提案型官民連携モデリング事業（ミドリク NbS 株式会社 関様）

- ・ドローン+レーザー測量 → 3D モデル化（デジタルツイン）
- ・ドローン採水と人手での採取結果を比較→同等の成果が認められたので代替性あり
- ・効率・安全な調査手法として有効

④秩父地域物流ネットワーク協議会の事業報告（一般社団法人ちちぶ結いまち 深田様）

- ・人口減少・高齢化により物流の維持が困難に
- ・共同配送+ドローン+タクシー連携
- ・新サービス創出+雇用創出が目標

⑤埼玉県災害対策課によるスターリンク運搬実証（埼玉県災害対策課 吉田様）

- ・孤立集落での通信確保が目的
- ・ドローンでスターリンク運搬（約16kg）、ウインチで吊り下げ配送（非着陸）
- ・今後は防災ヘリ+ドローン併用検討

⑥NEDO プロジェクトによるドローン航路実証

(グリッドスカイウェイ有限責任事業組合 足立様)

- ・昨年度整備した送電線上空の「空の道」と河川航路との接続実証
- ・(システム) 航路選択 → 自動ルート生成 → 予約・課金
- ・航路の標準化・制度化・国際展開が目標

## 【質疑】

(秩父市 笠井)

- ・ドローン航路の価格設定について  
(Intent Exchange 中台様)
- ・海外では有人地帯でリスク管理
- ・無人地帯でのドローン航路システムを海外にも売り出していく
- ・社会実装のための価格設定は今後詰めていく

(秩父市 笠井)

- ・ドローン航路における送電線網点検以外のマルチユースの時期感は。  
(グリッドスカイウェイ有限責任事業組合 足立様)
- ・ビジネスとして成立させるためのドローン航路の価格設定が必要  
(秩父市長)
- ・河川のドローン航路は1万キロすべて張り巡らせるのか。  
(グリッドスカイウェイ有限責任事業組合 足立様)
- ・河川は、トラジェクトリーが担っている
- ・河川点検やダム点検などのマルチユースを組み合わせていく

### 3 - (4) 来年度について

事務局 (秩父市 先端技術推進課)

- ・会議の開催予定を提示
- ・Slack による活発なやり取りを推進

(秩父市事業推進アドバイザー 高田様)

- ・能登半島などにおいて多くの防災関係の活動を行ってきた
- ・コンソーシアムとして、様々なことを国に提言していく存在になっていく必要がある
- ・様々な取り組みを線から面にどのように移行させていくのが大事

(浜松市 森様)

- ・オブザーバーとして参加
- ・天竜川のドローン航路で医薬品配送サービスを実施中
- ・マネタイズが難しい課題であるため、マルチユースが必要
- ・行政としては、市民や企業のクッションになることが大事

### 4. その他

事務局 (秩父市 先端技術推進課)

- ・部会検討会について、各リーダーに協力をいただいて運営していきたい
- ・新たな部会や検討会の設立希望があれば事務局まで連絡ください
- ・働空間の利用促進について

## 5. 閉会